

平成25年3月 定例教育委員会

日 時 平成25年3月22日（金） 13時30分～

場 所 市役所11階 研修室

出席者

（教育委員）

浅井委員長 久田委員 深町委員 合田委員 永元教育長

（事務局）

中島教育次長兼学校教育課長 蓮田教育次長 大藤総務課長

山田総合教育センター長兼教育センター所長 鎌田社会教育課長 吉川スポーツ振興課長

川口総合教育センター課長 渡辺図書館長 田口青少年教育センター所長

濱野公民館政策課長 吉永総務課副主幹兼庶務係長 松尾総務課主査

(1) 委員長報告

(2) 教育長報告

(3) 議題

①佐世保市教育委員会事務局処務規程の一部改正の件

②佐世保市立学校使用規則の一部改正の件

(4) 報告事項

①市民憲章について

②針尾送信所（旧佐世保無線電信所）の国重要文化財指定について

③文化財審査委員会委員の委嘱について

④平成25年度ブックスタートボランティア募集について

⑤読書郵便について

⑥平成24年度学校適応指導教室「あすなろ教室」の通級状況報告について

(5) その他

①次回日程調整等

◆ 委員長報告

- 2月23日 財佐世保市体育協会スポーツ表彰式
- 2月24日 本会議開会
- 2月27日 佐世保市文教厚生委員会（先議案件）
- 2月29日 臨時教育委員会
- 3月 1日 本会議（代表質問）～久田委員出席
- 3月 2日 本会議（代表質問）～深町委員出席
- 3月 3日 教育文化及びスポーツ表彰式
- 3月 5日 本会議（議案質疑）
- 3月 6日 本会議（議案質疑）
- 3月 7日 本会議（個人質問）
- 3月 8日 本会議（個人質問）～徳勝委員出席
- 3月 9日 佐世保市文教厚生委員会（予算、条例等）
- 3月15日 中学校卒業式
- 3月16日 小学校卒業式

◆ 教育長報告

- 2月22日 初任者研修会実施運営委員会、10年経験者研修佐世保・東彼地区実施運営委員会
- 2月23日 財佐世保市体育協会スポーツ表彰式
- 2月24日 本会議開会
- 2月26日 山本昌克氏剣道八段昇段祝賀会
- 2月27日 佐世保市文教厚生委員会（先議案件）
- 2月29日 臨時教育委員会
- 3月 1日～2日 本会議（代表質問）
- 3月 3日 教育文化及びスポーツ表彰式
- 3月 5日～6日 本会議（議案質疑）
- 3月 7日～8日 本会議（個人質問）
- 3月 9日 佐世保市文教厚生委員会（予算、条例等）
- 3月14日 社会教育委員の会議
- 3月15日 中学校卒業式
- 3月16日 小学校卒業式

◆ 委員長報告・教育長報告に関する質疑・意見等

【委員】 小・中学校の卒業式に出席した。大変良い卒業式だったと思う。ただ気になったことがある。校旗のおかれていたステージ上の位置が小学校と中学校で違っていた。校旗をステージ上の下手に配置していた学校もあった。基本は、やはり校旗が学校の象徴とすれば松や花より上位で、ステージの上手に置くべきだと思う。

学校行事であるので、式を開催する場所の状況等を見ながら、各学校で決めることではあるが、気になって他市の状況を調べた。その結果、8割から9割は、ステージ上の上手、いわゆるステージに向かって右側に配置されていた。

何らかの根拠があるのならよいが、ここらあたりを一定整理していただきたい。

【事務局】 議員からのご指摘をいただいたこともある。基本は先ほどお話があったとおりだと考える。なかなか根拠を見出し難いため統一されていない現状もある。

ただ、特に新補の校長については、その辺りの認識がないため、折に触れ、話をしよう努めている。

◆ 協議事項

【委員長】 それでは協議事項に入る。事務局の説明を請う。

【事務局】 協議事項①「前期教育委員会の年間スケジュールについて」の説明

- ・ 前期教育委員会を勉強会と位置づけた経緯の説明
- ・ 定型化した年間スケジュール案の提示
- ・ 平成24年度の年間スケジュール案の提示

【教育長】 平成24年度の前期教育委員会の予定の説明があったが、本年度の特殊事情として、もうひとつ大震災の影響により予算化が遅れていた、中学校給食センターや東部グラウンド体育館の契約議案等がある。これらの工事契約の工期の関係から臨時議会の開催をお願いすることも考えられるため、その議案を教育委員会会議に急ぎ提案するかもしれない。その旨、事前にお知らせする。

【委員】 事務局お勧めの研修は、事務局側でいくつかピックアップされ、そこから選択するような形をとるのか。

【事務局】 正直、方法を想定していなかったが、そのような形が合理的だと考える。そのため、そのような形で進めたい。

【委員】 教育センターだよりを見たが、ここに掲載されている研修を見ることも可能なのか。

【事務局】 授業参観のような形をとることで可能である。

【委員長】 他に意見はないか。

～ 異議なし ～

【委員長】 本件については、協議事項であるので、本内容はあくまで目安としてこのよ
うな流れで進めていただきたい。それでは報告事項に移る。

◆報告事項

① 議会と当局との連絡窓口について

～ 質疑は以下のとおり ～

【委員長】 議会の開催時間について、教育委員の出席の確認のため、前日でも個人の携帯メ
ールに出席の旨知らせていただきたい。

【事務局】 了解した。

② 「徳育推進のための行動計画」について

～ 質疑は以下のとおり ～

【委 員】 意見ではないが、感想を述べる。徳育推進に関わってきた者として、やっとここ
までたどりついたかと感じる。事務局に感謝を述べる。

【教育長】 未だに話もあるが、徳育とは行政がリーダーシップをとるものではなく、後押し
すべきものだと思う。そういったことからバックアップはしていきたい。

事務局自体は佐世保市教育会の中に置いてもらうこととなるが、関係団体とよく連携して
いきたい。

【委員長】 事務局を民間に移管する時期はいつか。4月からか。

【教育長】 そのように考えている。

【委員長】 移管した事務局の所管はどこか。

【教育長】 社会教育課である。

【委員長】 一徳運動の成果指標は定めるのか。

【教育長】 定める。ただし、成果指標を作るものの、徳育とはそこが本当に大事な部分なの

かという疑問はある。そうではないんじゃないかとも考える。

③ ブックスタートボランティアの募集について

④ 読書郵便について

～ 上記2件は図書館の管轄のため一括して説明。質疑は以下のとおり ～

【委員】 読書郵便についての感想だが、年々レベルが上がっている。本の選定はしているのか。

【事務局】 やっていない。だが、「県民に勧める100選」を参考にしているところもある。

⑤ 平成23年度学校適応指導教室「あすなる教室」の閉級式・通級状況報告について

～ 質疑は以下のとおり ～

【委員長】 入級者数の学年の階層は、例年と同じ傾向か。

【事務局】 同じ傾向である。

【教育長】 答えを出せと求めるわけではなく、あくまで感覚での回答で結構だが、やはり今後も増えていくのか。

【事務局】 最近感じることだが、母親に連れられて来るパターンが増えている。ひきこもっている子どもは増えている。今後も増えていくのではないかと思う。

【委員】 入級者数が、女子より男子が多い。毎年こういった傾向か。

【事務局】 今年は特別。例年は女子が多い。

【委員長】 不登校の理由に性差はあるか。

【事務局】 「怠惰傾向・無気力」の理由による不登校は男子が多い傾向がある。それ以外は、性別による差はない。

【教育長】 今後、男女別もつくってほしい。

【委員】 あすなる教室は、この2～3年、50名を超えているが、これはひきこもっている不登校の子どもたちの中でも、これだけの子どもたちがその状態から脱出できたとプラスに受け止めることもできるであろう。

【委員】 青少年教育センターとして、学校に対する働きかけなどについて、具体的にどのように取り組まれているのか事例をいくつか紹介してほしい。

【事務局】 月に一度、広報誌を作成し、各学校に配布している。回覧という形で全ての教職員に見ていただいている。

また、やはり、担任との連絡がキーとなるため、こちらから学校に出向いたり、あるいはこちらに来ていただき情報交換を行っている。

【委員長】 学校に指導方法のマニュアルのようなものはあるのか。

【事務局】 ある。一定の共通認識もある。一番難しいのは、その子どもの状況の見立てである。専門家である臨床心理士を活用する必要があるケースも出てくる。

危険なのは教職員の見立てだけで動くことであり、専門家を使った方がいい。指導主任は年に数回研修を受けており、組織で対応すべき事項である。

復帰する一定のポイントには担任の行動がある。積極的に動けば復帰する確率が上がるデータもあるが、その子の状況によるところも多々あり、そこが専門家の意見を要する部分である。

◆その他

教育交流職員の異動内容の説明及び各施設長からの現状報告を受けたのち、次回日程調整を行い終了となった。